

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320234	XZY2320234			国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	2年
		1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
中国語 3b	佐藤 若菜			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×

授業目的

2年生の前期までに学んだ中国語の基礎を生かして、会話力を高める。高度な語学運用能力を身に付けます。

各回毎の授業内容

第1回

【授】第一課 “了”の用法、連動文

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第2回

【授】第二課 進行を表す“在”、“了”の用法、未来を表す表現

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第3回

【授】第三課 “了”、“更”と“最”、“可能”的用法

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第4回

【授】第四課 “过”、“会”、“了”的用法、仮定を表す表現、分離動詞

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第5回

【授】第五課 復習

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第6回

【授】筆記試験、リスニング試験、口頭試験

【前・後】事前に、ここまで授業の総復習を行う。予習復習に4時間。

第7回

【授】資格試験対策

【前・後】事前に、ここまで授業の総復習を行う。予習復習に4時間。

第8回

【授】第六課 存現文、同一・類似を表す表現、強調を表す“是”、逆接

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第9回

【授】第七課 “着”的用法

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第10回

【授】第八課 結果補語、“再”的用法

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第11回

【授】第九課 数量補語、程度補語、前置詞からなる結果補語

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第12回

【授】第十課 復習

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第13回

【授】まとめ

【前・後】事前に、ここまで授業の総復習を行う。予習復習に4時間。

第14回

【授】口頭試験

【前・後】事前に、ここまで授業の総復習を行う。特に例文を何度も音読しながら書いて覚える。予習復習に4時間。

第15回

【授】筆記試験、リスニング試験

【前・後】事前に、ここまで授業の総復習を行う。特に例文を何度も音読しながら書いて覚える。予習復習に4時間。

第16回

【授】レポート

【前・後】これまで習った文法や単語を用いて、夏休みの過ごし方をテーマに中国語の文章を作成する。予習復習に4時間。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							60
宿題・授業外レポート							20
授業態度・授業への参加							20
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

口頭試験、リスニング試験、筆記試験とレポートにより評価する。試験を採点して返却し、解説を行う。

教科書参考書

『理香と王麗一話す中国語2-』(董燕・遠藤光暁、朝日出版社)

受講に当たっての留意事項

中日辞典(紙媒体の辞典ないし電子辞書)を必ず持参すること。

学習到達目標

日常的な会話を中国語で行うことができる。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習